

平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	申間市文化会館
所在地	申間市大字西方6524-58
指定管理者	<p>名 称 特定非営利活動法人 トータルサポート南九</p> <p>代表者 理事長 岡田弘一</p> <p>住 所 申間市西浜一丁目13番地2</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>毎月、業務報告書の提出を受け、モニタリングを行った。</p> <p>また、サービスの質については、平成31年3月22日に運営評価モニター会議を実施し、利用者より意見を拝聴した。</p>
担当課 (問い合わせ先)	申間市教育委員会 生涯学習課 文化係

■モニタリングの総合コメント

平成30年度における大ホール・小ホール等の利用件数は計417件、利用者数は27,754人であった。平成29年度に比較して利用件数で56件、利用者数では609人の減少となった。当法人における申間市文化会館の指定 管理業務は6年目で、管理面では電気料、燃料費等におけるコストダウン、運営面ではバランスのとれた内容の自主事業の展開が評価できが利用件数の回復、自主事業での入館者増に努めていただきたい。

■今後の業務改善に向けた考え方

文化会館自主事業入場者層の固定化・少数化は慢性的な課題であるが、普段より入館し易い環境づくり、企画内容を市民に理解していただけるような広報の在り方等を通じて入場者増加を図るべきと考え。また、施設利用については、文化会館より施設の様々な利活用の方法等の情報発信をしていくことが肝要と思われる。市民にとって利用しやすい環境の提供や自主事業入館者・利用者増加につながるよう取り組んでいただきたい。

■基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性
文化会館の利用者は固定化傾向にあり、新規利用者が少ないので、その原因を分析・改善し、もっと幅広くいろいろな方々に気軽に使用していただき、地域に根ざした施設として位置づけられるように取り組んでいただきたい。

■業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)
自主事業として、経年の実績、モニター会議の意見、類似施設の取組状況やネットワーク情報等により、音楽・大衆演劇・お笑い公演・市民参加型等、各種・各世代別を意識した事業が展開されている。
・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)
3名体制による勤務体制において協定書に基づいた管理運営が行われており、連絡調整会議等において市と指定管理者間の意思疎通も十分なされている。
・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)
毎月開催される教育委員会との定例会において、確認作業、意見交換を行うことにより、協定書に基づいた適切な施設管理、事業執行及び事務・会計処理等が行われたと判断できる。
・安全性(安全管理、緊急時等の対応)
安全管理などについては、災害、事故、事件等の安全マニュアルは整備されている。今後も引き続き、安全への意識を持ち、適切な対応ができる体制作り及び維持に努めていただきたい。
・社会性(環境等への配慮)
資源ゴミや植栽等の環境に対する職員の意識も高く、環境への配慮がなされている。今後も引き続き、清潔感のある過ごしやすい快適な空間・環境づくりに努めていただきたい。

■事業収支

経済性
平成30年度の収支は収入41,892,000円に対し、支出は41,311,058円となっている。自主事業への取り組み、経費節減に努められているが、自主事業費の効率性について更に努力していただきたい。

■団体の経営状態

経営の健全性
経営面における借入や損失はなく、運営業務に関しては指定管理委託料内で計画的な執行がなされており、自主事業に関してもさまざまな取り組みがなされていた。